

総務・経済 常任委員会 意見交換会

11月19日、毎年行っている総務・経済常任委員会と経済4団体（漁協・農協・商工・観光協会）との意見交換会を産業会館で開催しました。

内容について、概要をお知らせします。

●質疑要旨 新函館農協

水稲の品質低下
原因を把握しているか

佐藤委員 水稲は、気候の影響もあり、見た目より残念な結果となりましたが、農協としてどう考えていますか。また、海外研修視察を実施していますが、後継者である若い方にとってはとても良いことであり、今後も継続してほしいと思っています。

城地センター長 水稲は、春の育苗時点で低温や田植え後の高温で一気に生育しすぎたことが一番のマイナス要因だと思っています。また、夏場の降水量の多さや曇りの日が多かったなど、非常ににくりづらい環境だったと思っています。

吉田委員 きこりろは、大平の国道沿いから移転して、売り上げが下がる懸念してました。江差線の廃止で、お客さんも多く来ているようですが、結果は客層も地元客が多く、はこだて和牛も結構販売されていると聞いています。

また、女性部の皆さんが高齢化が課題だと思えますが、農協ではどう考えているのでしょうか。また、女性部の皆さんは多く訪れていますが、きこりろでものを買っているわけではないと聞きます。女性部の高齢化は大きな問題だと思っています。新しい構想は、組合員段階でバラ出荷させるということ、限られた生産者の中で出荷量をどう伸ばすかという議論をしています。

●上磯郡漁協

雨水等での土砂流出
ウニへの影響が心配

平野委員 工事の影響で土砂が海に流れていると聞いています。

特に、サラキ岬の磯では、流れてきたもので生態系に被害を及ぼすのではないかと心配しています。漁組では現状をどうとらえていますか。



水稲の生育状況やニラ共選施設再編事業等について説明する農協職員

又地委員 平成27年度から、ニラ共選施設再編事業を導入したいということですが、ニラ農家が何戸増えれば目標金額の12億円を達成できるのですか。城地センター長 現在は、組合員が一束ずつ計量・結束して大きなコンテナに入れて出荷

しています。新しい構想は、組合員段階でバラ出荷させるということ、限られた生産者の中で出荷量をどう伸ばすかという議論をしています。

また、女性部の皆さんは多く訪れていますが、きこりろでものを買っているわけではないと聞きます。女性部の高齢化は大きな問題だと思っています。

また、女性部の皆さんは多く訪れていますが、きこりろでものを買っているわけではないと聞きます。女性部の高齢化は大きな問題だと思っています。